

## 第3章 鎌倉市の地域特性

### 3-1 鎌倉市の人口

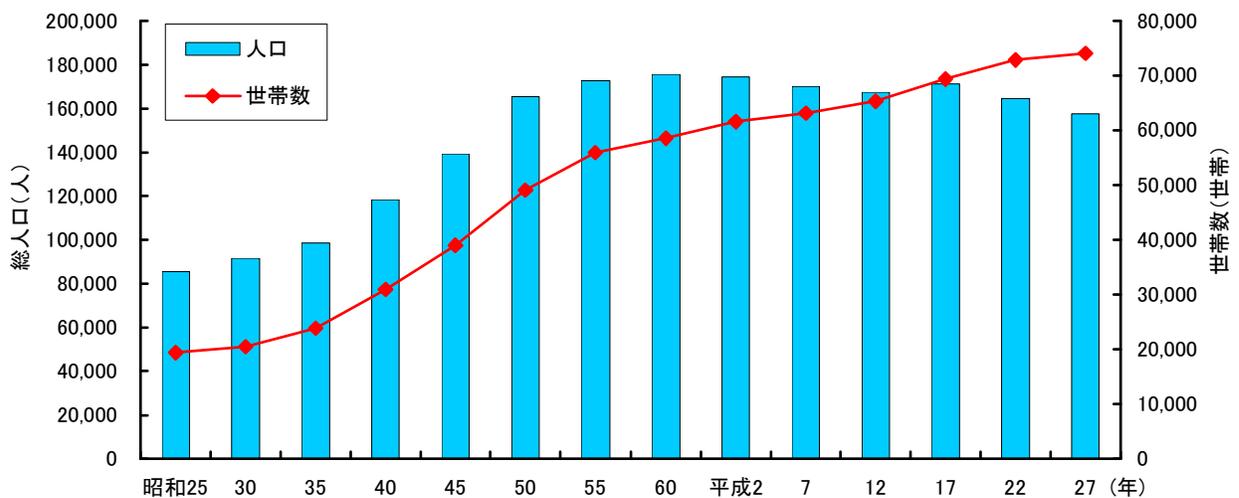
鎌倉市の人口は、昭和30年代後半から40年代にかけて大きく増加した後に、昭和62（1987）年9月の176,489人をピークに減少傾向を続けていましたが、平成14（2002）年からは再び増加に転じ、平成18（2006）年4月には172,820人と17万人台に回復しています。

しかし、本市の将来人口は、日本の総人口が長期減少過程に入ることを受けて、現状の低出生率と転出入に大きな変化がないと仮定すれば、平成22（2010）年には、164,590人、平成27（2015）年には、157,455人と推計されています。また、平成27（2015）年には、市民のほぼ3人に1人が高齢者という状況になり、少子高齢化がさらに進行するものと推計されています。

世帯数に関しては、引き続き増加するものの、1世帯あたりの人数は減少するものと見込まれています。

こうした人口や世帯数の変化は、市内全体のエネルギー使用量や廃棄物排出量等に大きな影響を与え、また地域コミュニティの環境保全活動などにも影響をもたらすものと考えられます。

#### ■人口と世帯数の推移と予測



[出典：「鎌倉の統計」及び「第3次鎌倉市総合計画第2期基本計画」より]

## 3-2 鎌倉市の産業

本市の産業構成は、第3次産業が最も多く、次に第2次産業、第1次産業となっており、鎌倉の消費生活や生産活動の基盤は、そのほとんどを他地域に依存しています。

本市の商業の構成は、小売業が占める比率が高く、また観光都市という立地条件から飲食店と食料品小売業の比率が高いのが特徴です。工業は、少数の大規模事業所があるほかは、市全体では小規模事業所が今日では一部の住宅と混在している状況にあります。

### ■農業、漁業の人口

農業人口	734人
漁業協同組合員数	136人

出典：農業人口 「農林業センサス」(平成17年統計)  
 漁業組合員数 「鎌倉の統計」(平成18年統計)

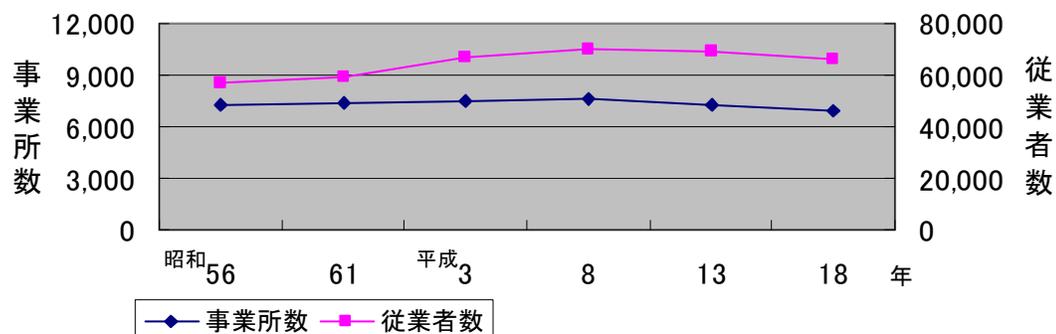
### ■事業所の人口(産業別)

卸売・小売業	13,886人
製造業	9,519人
サービス業	9,254人
医療・福祉	8,628人
その他	24,830人
総数	66,117人

出典：「事業所・企業統計調査」(平成18年統計)

市内の全事業所数は、平成18(2006)年時点で、6,867事業所、従業者数は66,117人で、前回調査を実施した平成13(2001)年と比べ、減少しています。

### ■事業所数と従業者数

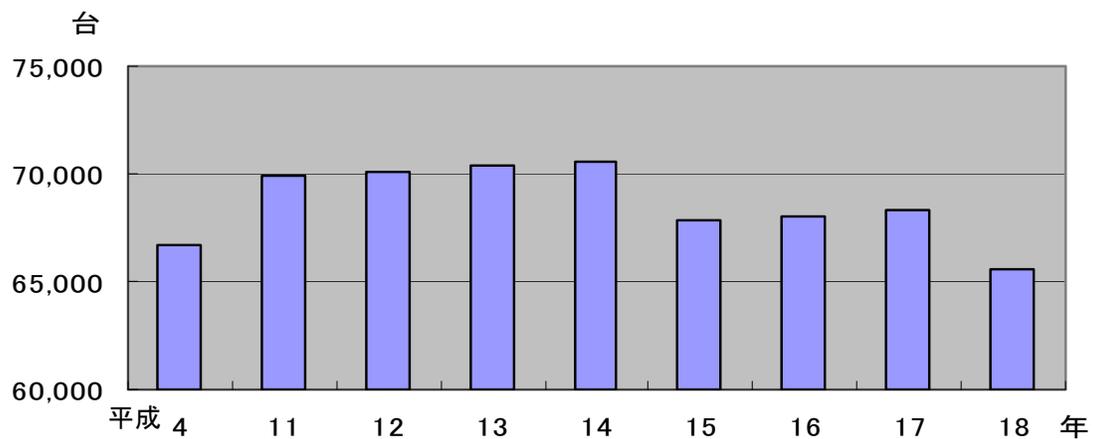


資料：「事業所統計調査」(昭和56,61年,平成3年)  
 「事業所・企業統計調査」(平成8,13,18年)

### 3-3 鎌倉市の自動車保有台数

鎌倉市内の登録自動車台数は、平成18(2006)年度では65,549台となっています。平成12(2000)年度から平成14(2002)年度までは保有台数が7万台を越えていましたが、平成15(2003)年度以降は7万台以下となっています。

#### ■自動車保有台数



〔資料：国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局より〕

### 3-4 市民・事業者の意識

鎌倉市では、地球温暖化問題に関する意識調査として、市民と事業者にアンケート調査を行いました。

市民意識調査として、市民、環境保全団体、市職員の計3072世帯に対して、平成16年度に「地球にやさしい行動アンケート」を実施し、1645世帯から回答がありました。

事業者意識調査として、産業・民生業務部門の79事業者に対して、平成18年度に「温室効果ガスの排出に関するアンケート調査」を実施したところ、60事業者からアンケートの回答がありました。

以下にそれぞれのアンケート結果について記述します。

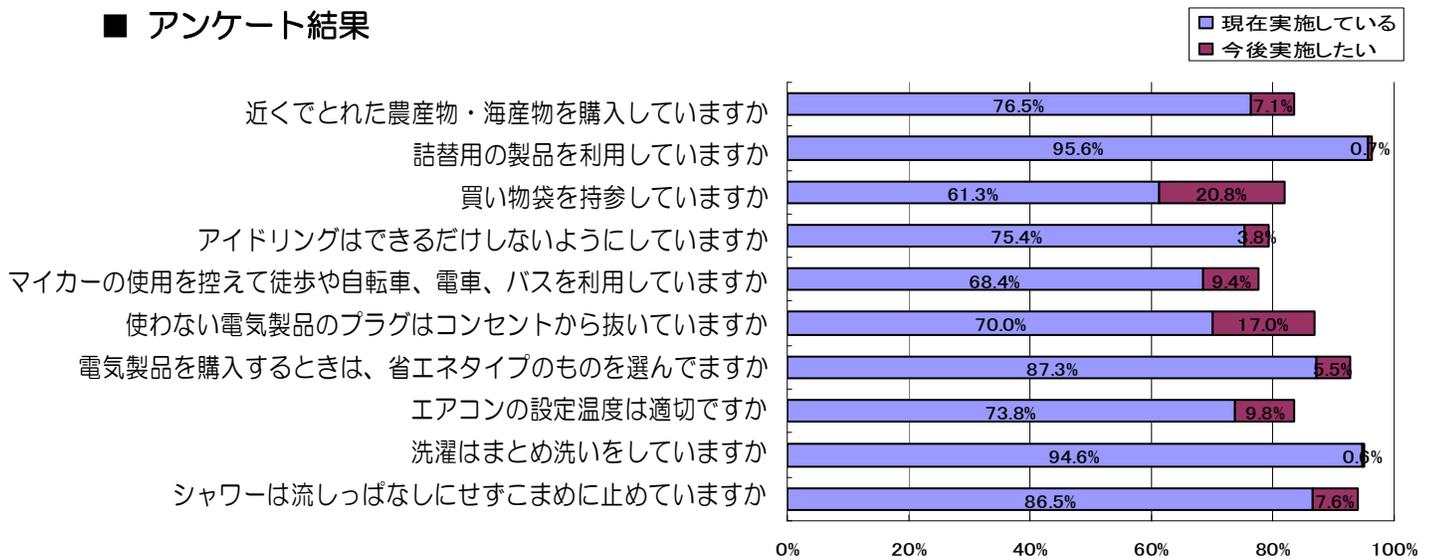
#### (1) 市民の意識

鎌倉市のごみのリサイクル率は、全国の人口10万人以上の市町村の中で、平成16(2004)年度と平成17(2005)年度の2年連続で1位になりました。

また、平成16(2004)年度に実施した「地球にやさしい行動アンケート」においても、「アイドリングはできるだけしないようにしている」、「近くでとれた農産物・海産物を購入している」、「電気製品を購入するときは省エネタイプのものを選んでいる」、「洗濯はまとめ洗いをしている」、「詰替用の製品を利用している」といった、環境保全を心がけた生活を7割以上の市民が実施しているという結果がでました。

これらのことから、ごみのリサイクルをはじめ、環境に対する市民意識の高さが伺われます。

#### ■ アンケート結果

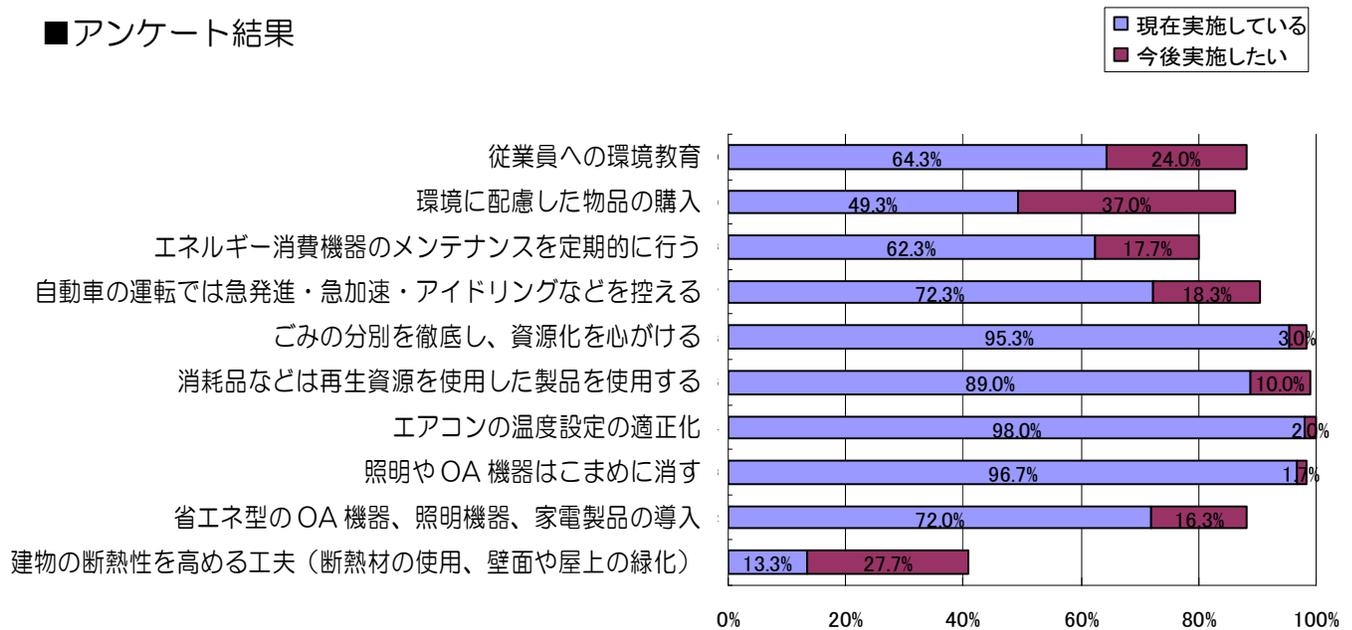


「地球にやさしい行動アンケート」(平成16年度)より作成

## (2) 事業者の意識

鎌倉市内の事業者を対象として、平成18(2006)年度に実施した「温室効果ガスの排出に関するアンケート調査」においては、「照明やOA機器はこまめに消す」、「エアコンの温度設定の適正化」、「ごみの分別を徹底し、資源化を心がける」、「自動車の運転では急発進・急加速・アイドリングなどを控える」、「エネルギー消費機器のメンテナンスを定期的に行う」といった取組が8割以上実施されていました。

### ■ アンケート結果



「温室効果ガスの排出に関するアンケート調査」（平成18年度）より作成